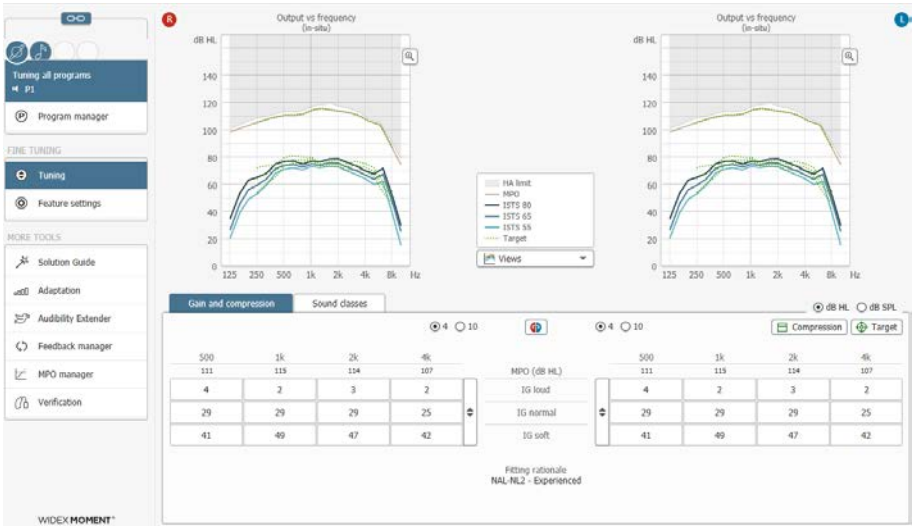
クイックガイド

COMPASS GPS

ファイン チューニング

はじめに

このガイドでは、ファイン チューニング微調整の方法を説明します。プログラムスターター、ゲイン調整、プログラム設定などのツールがあります。



プログラムスターター

画面左にあるナビゲーションバーの上部にあり、設定されているプログラムを表示します。選択中のプログラム名は表示され、その他のプログラムはアイコンのみ表示ですが、マウスカーソルでアイコンを指すとプログラム名が表示されます。

注意：ファイン チューニング画面に表示される項目は補聴器シリーズで異なります。以下に UNIQUE / BEYOND / EVOKE / MOMENT シリーズと DREAM シリーズごとの説明をします。

UNIQUE / BEYOND / EVOKE / MOMENT 調整 主なツール

プログラム マネージャー: 設定できるプログラムの数は、モデルおよび DEX を使用するかどうかで異なります。多くの補聴器が「万能」だけを備えている。しかし、あるタイプの補聴器（例えば Bluetooth 接続するもの）では、複数のプログラムが自動的に設定されます。プログラムマネージャーでは、他のプログラムの追加が可能です。

クイックガイド

「追加プログラム」では、例えばミュージックのように特定の環境に特化したプログラムを追加できます。
「特別なプログラム」では、電話、テレコイル、ゼン用のプログラムを追加できます。

「スマート トグル」では、3 種類のゼントーンを設定できるゼン＋もしくは両耳で電話通話音を聞く電話＋プログラムを追加できます。

調整: 「ゲインとコンプレッション」画面では、音量や音質の微調整またはコンプレッションのニーポイントや圧縮比を変更できます。最初に表示されるグラフは「出力 vs 周波数」ですが、中央にある「グラフ表示」タブから切り替えることができます。

選択されたプログラムによっては、「ゲインとコンプレッション」以外のタブが表示され、様々な設定が可能です。例えば、万能プログラムでは「サウンドクラス設定」、ゼンプログラムでは「ゼンスタイル選択」、電話＋プログラムでは「電話＋設定」などです。

機能設定: 各機能の設定を行います。例えば、スピーチ・ノイズ モード、風雑音減衰、フィードバック キャンセリングモードなどです。各機能ごとの現在の設定が表示され、アイコンをクリックすると設定を変更する画面が開き、機能の説明を参照することができます。

DREAM 調整 主なツール

プログラム設定：最初に表示されるグラフは「出力 vs 周波数」ですが、中央にある「グラフ表示」タブから切り替えることができます。

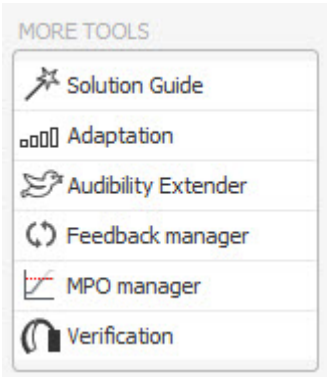
「ゲイン設定」では、音量や音質の微調整を行います。「機能設定」では、補聴器の持つ各機能の設定を変更できます。
「コンプレッション調整」では、小さな音に対するコンプレッションのニーポイントを調整可能です。

プログラムマネージャー：設定可能なプログラムの数は、モデルや DEX 使用の有無により異なります。工場出荷時の補聴器には「マスター プログラム」のみが設定されています。その他のプログラムの追加、変更、順序の入れ替えを行います。左右で同じプログラムを使うには「通常プログラム」から選択、特殊な状況向けの左右で異なるプログラムの組み合わせは「複合プログラム」から選択します。

クイックガイド

その他のツール

その他の調整に関わるツール



対応ガイド – マスター プログラム選択時に対応ガイドを開き変更した項目は、すべてのプログラムに対して適用されます。（全般的対応ガイド） マスター プログラム以外のプログラムから対応ガイドを起動した際の変更は、そのプログラムのみに適用されます。（特定対応ガイド） 対応ガイドは、顧客情報および COMPASS による設定値を考慮し、ユーザーの訴えの対応する解決策の候補を表示します。多くの対策は、直接実行可能です。

順応：もしお客様が補聴器に慣れていなかったら、一時的に順応レベルを 4 より下げてみましょう。ゲインが下がります。慣れてきたら 4 に戻します。自動でレベルが変わるものもあります。順応は、すべてのプログラムに有効です。グラフは、目標カーブとともに出力特性で表されます。

AE 設定（オーディビリティ エクステンダー） – AE 設定の画面では、補聴器はマスター プログラムに切り替わり、AE の効果を含んだ「出力 vs 周波数」グラフが表示されます。「選択したプログラム」タブ内では、オーディビリティ エクステンダーを動作させるプログラムを指定できます。「設定」タブ内では、開始周波数や AE の対象となる周波数範囲を指定することができます。

フィードバック マネージャー –フィードバックテストの結果が良好にもかかわらず、お客様がハウリングを訴えられる場合があるかと思います。シェルやイヤモールドの再作、ベントの変更によってもハウリングの問題を解決できない場合に使える新しいツールです。補聴器によっては、オーディビリティ エクステンダーのボリュームと順応を設定できます。

MPO マネージャー – この画面では 参照情報として MPO 目標値 (dB HL) と MPO 参照値 (dB SPL)が表示されます。MPO ロック (dB HL) を調整して、最大出力を指定します。この設定はすべてのプログラムに作用します。

検証測定 – 補聴器の操作や設定を検証するための測定に使用するテストモード「アダプティブ テストモード」と「非 アダプティブ テスト モード」があります。

より詳細な説明を *COMPASS* ヘルプで参照できます。？アイコンをクリックするか *F1* キーを押してください。

この文書は、電子データで供給されています。印刷されたものが御入用の場合、無償にてサイト http://widex.pro/gps-startup-guide,から依頼できます。配達には 7 営業日かかります。また、この文書は、サイト http://widex.pro/gps-startup-guide からダウンロード可能です。

Copyright © Widex. All rights reserved.

Document version:2.0. Issue date: 2019-11